AXIS Audio Manager Pro

ユーザーマニュアル

各リリースに含まれる内容の詳細については、*AXIS Audio Manager Proリリースノート*を参照してください。

AXIS Audio Manager Pro 5.2

2026年10月



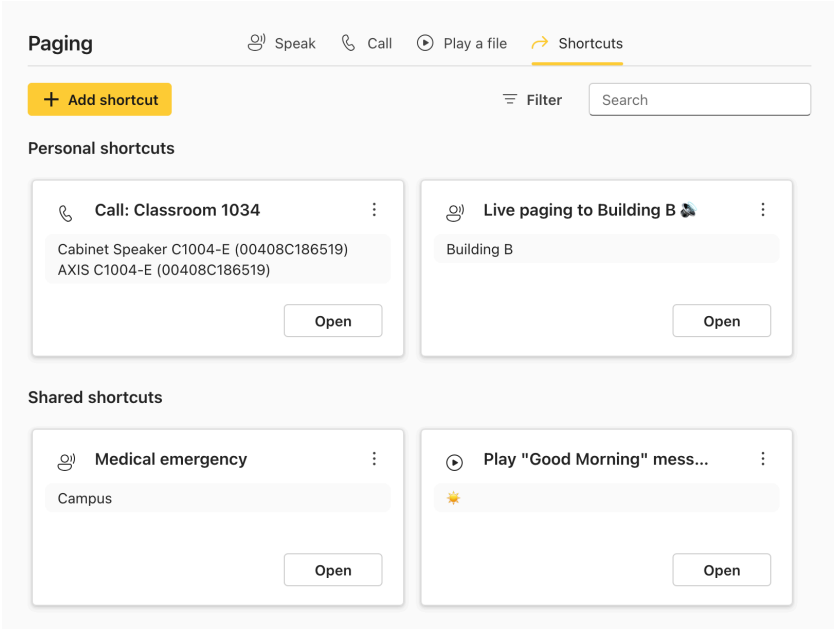
- 新規デバイスを検索してシステムに追加するワークフローを簡素化。
- オンラインサーバーのライセンス管理の簡素化。接続済みのMyAxisアカウントによるライセンスの管理および有効化。
- テキストディスプレイにおける追加の言語サポート: タイ語、韓国語、中国語 (簡体字) 、中国語 (繁体字) 、日本語、トルコ語、アラビア語。
- AXIS Audio Manager Proのインターフェースに、ダークモードのカラーテーマを追加。
- TLS暗号化を使用してSIPトランク接続のセキュリティ確保が可能になった。

AXIS Audio Manager Pro 5.1

2026年5月

このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

- Microsoft Fluent UIを搭載して更新されたユーザーインターフェースは、オペレーターや管理者に最新の直感的な体験を提供します。
- ページングのショートカットが導入されました。ライブ操作中の時間を節約し、ミスを減らします。個人専用ショートカットを作成することも、管理者がシステム全体のショートカットを作成してインストール環境全体で一貫したページング設定を確保することもできます。



- 新規のプライバシー通知音は、マイクの使用中に音声フィードバックを提供し、聞いている人がいることをユーザーに知らせます。
- 統合、Bonjourディスカバリー、ログイン画面、および操作ワークフローにおいて、インストール環境を識別しやすくするためにサイト名を追加しました。**[System settings (システム設定)]** > **[General (一般)]** でサイト名を設定します。
- ビジュアルプロファイル、テキスト、ストロボのAPIサポート。利用可能なビジュアルプロファイルを一覧表示し、音声セッションに統合し、操作APIを通じて直接カスタム表示テキストを設定できます。
- アクセサリーセクションから直接、AXIS C8310 Volume Controllerのデバイスロック設定を有効または無効にできます。
- ライセンスの再同期が必要なシステムに変更を加える場合、再同期の猶予期間が60日間延長されます。

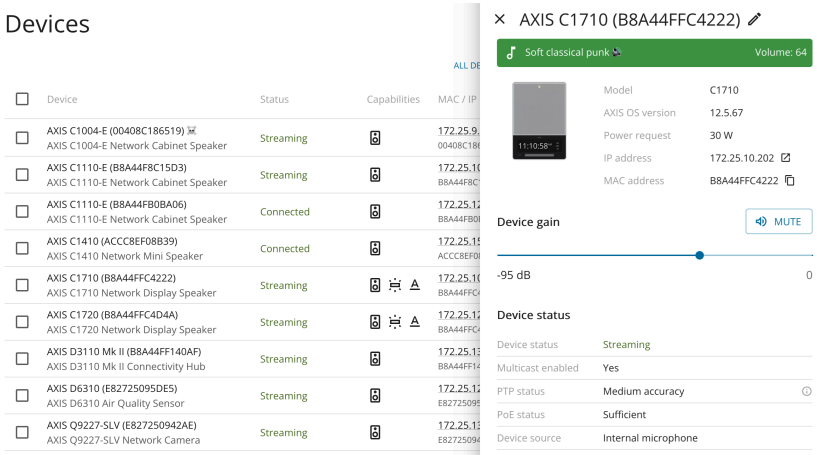
AXIS Audio Manager Pro 5.0

2025年10月

- AXIS Camera Station Proとの統合。

このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

- AXIS Camera Station Proに適合する新しいライセンスモデル。各デバイスに1つのライセンスが必要です。便利な電子ライセンスとして提供されます。1つのキーに複数のライセンスを含めることができ、複数のデバイスの管理が容易になります。既存のAXIS Audio Manager Pro 4。Xライセンスは5に譲渡可能です。X無料。
- オーバービューが見やすくなり、管理アクションにアクセスしやすくなった新しいデバイス一覧と、トラブルシューティングおよび情報を含む詳細デバイスビュー。



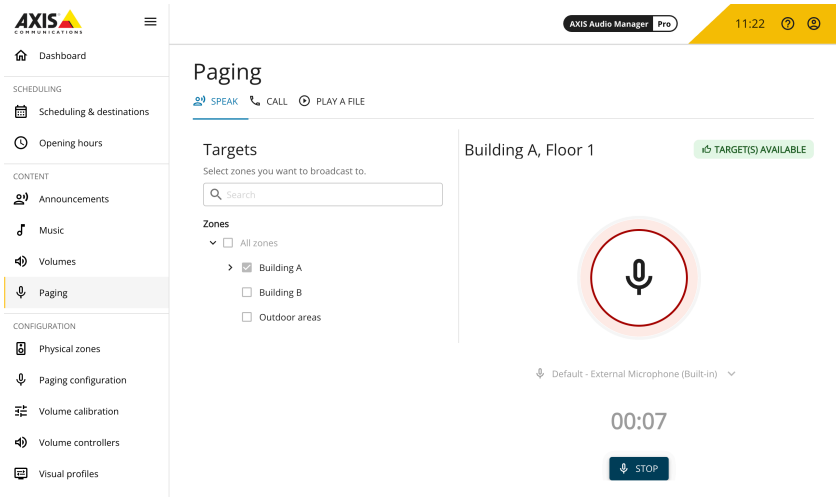
- 管理者が特定のIPアドレスがサーバーリソースにアクセスすることをブロック (ブラックリスト登録) できるIPフィルタリング。ブルートフォース攻撃から保護するため、複数回ログインに失敗すると、自動的に一時的なブロックが適用されます。
- 音楽、アナウンス、呼び出しに、デバイス固有の音声プロファイルが使用されるようになりました。音楽再生では低音が強調され、呼び出しでは明瞭さを向上させるため音声周波数が最適化されています。
- 新規ハードウェアのサポート:
  - AXIS D6310 Air Quality Sensor (スピーカーデバイスとして使用可能。AXIS Audio Manager Proは空気質機能なし)

AXIS Audio Manager Pro 4.8

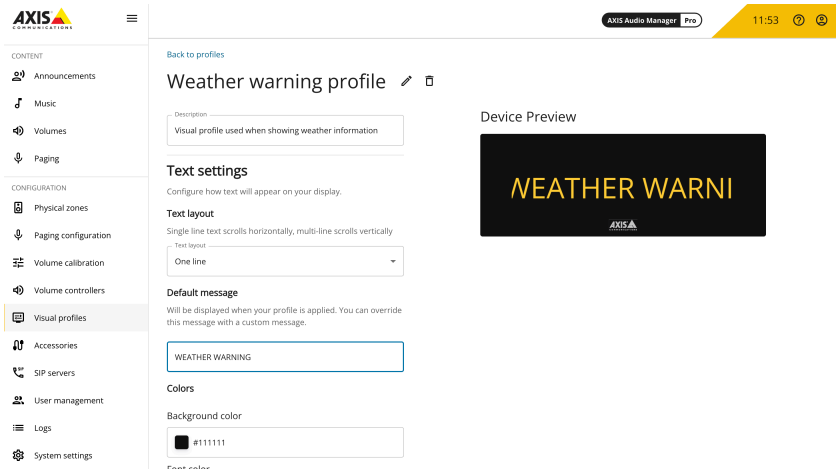
2025年6月

このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

- 新しいWebベースのページングインターフェースから、ライブまたは録音済みの音声メッセージを音声サイトに送信できます。この機能によって、リアルタイムの通信が可能になり、重要なアナウンスを意図する対象に効率的に届けることができます。インターフェースは双方向通信にも対応しており、個々のデバイスに直接通話を発信して双方向の会話ができます。

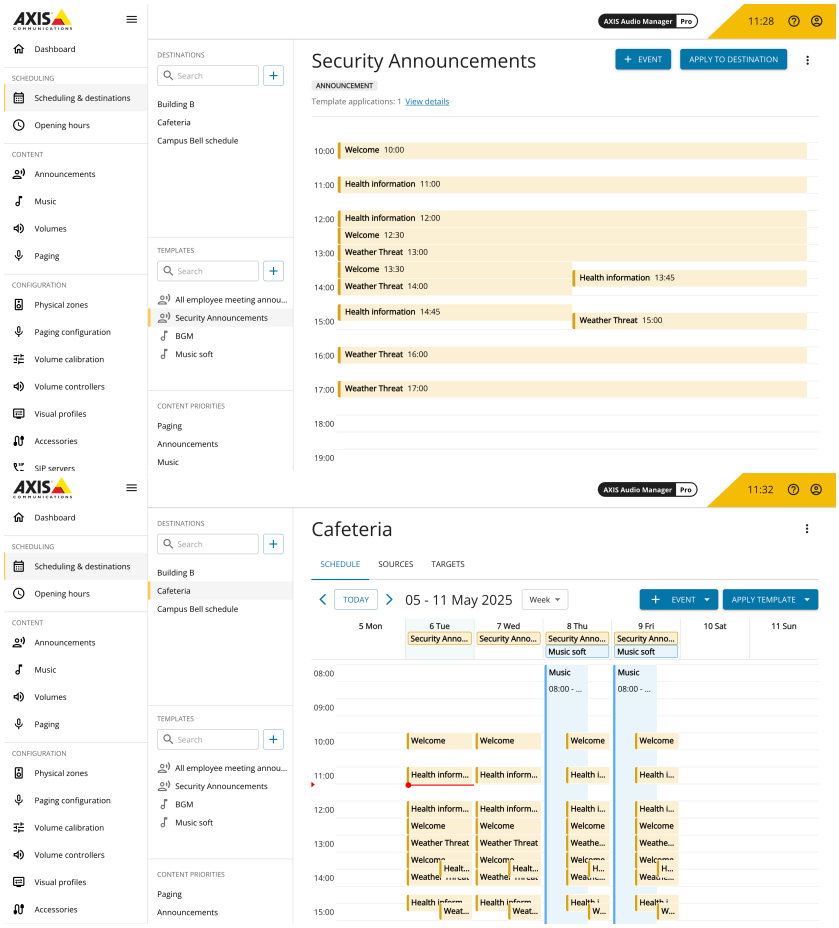


- このシステムは、テキストの表示やストロボによる視覚信号をサポートし、音声メッセージを補完できるようになりました。Visual Profiles (ビジュアルプロファイル) を使用すると、アナウンスやページング中のテキスト表示やストロボライトの挙動を設定できます。時計のフォーマットなどのグローバルディスプレイ設定も一元的に行うことができ、デバイスごとの設定を減らすことができます。

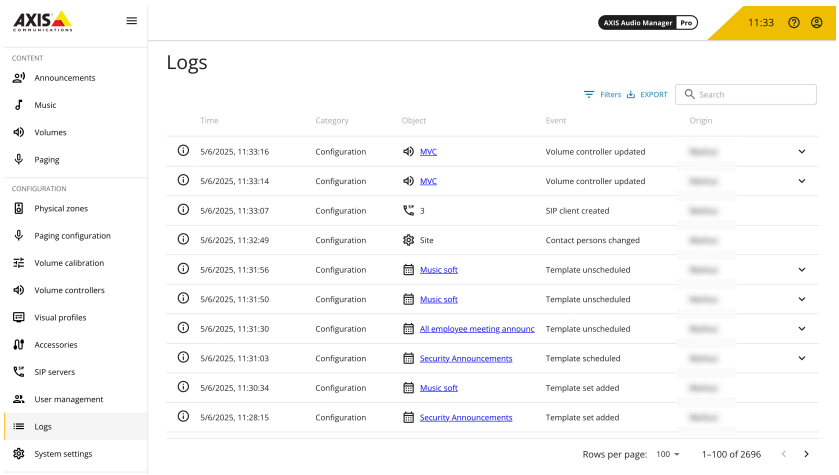




- テンプレートの追加により、スケジュールがより柔軟になりました。テンプレートは1日の再生の計画を定義し、複数日にわたって再利用できるため、時間を節約するとともに一貫性を確保できます。テンプレートは複雑なスケジュールの作成と管理を簡素化します。



- 新規診断ツールは、ネットワーク関連の問題の特定とトラブルシューティングに役立ちます。ネットワーク診断機能は、サイト全体でデバイスの通信状態を評価し、マルチキャストの可用性、ネットワーク遅延、パケット損失などの問題を検出し、安定した音声ストリーミングとシステム全体の健全性を確保します。
- 詳細なイベントログと監査ログが追加され、システムのアクティビティの包括的な記録を提供します。これにより、管理者は変更を追跡し、挙動を監視し、トラブルシューティングをより効果的に行うことができます。



- APIリクエストの構築を支援する内蔵ツールの追加。このツールは、正しいIDの選択をサポートし、誤字、括弧の欠落、構文の誤りなどのよくあるエラーを回避することで、必要なJSONの作成プロセスを簡素化します。
- 新規言語のサポート:ルーマニア語。
- より幅広いファイル形式およびストリーム形式に対応します。SIPにAAC、HLS、M3U8、およびOpusのサポートが追加されました。
- 以下を含む、より多くのデバイスのサポートを追加:
  - AXIS C1710 Network Display Speaker
  - AXIS C1720 Network Display Speaker
  - AXIS D4200 Network Strobe Speaker
  - AXIS D4100-VE MK II Network Strobe Siren
  - AXIS D3110 Mk II Connectivity Hub
- また、AXIS C8310 Volume Controllerのボタンがアクションのトリガーとして設定できるようになりました。これにより、AXIS Audio Manager Proのサイトに新しい可能性が生まれます。詳しくは、*AXIS C8310 Volume Controllerの製品*ページを参照してください。

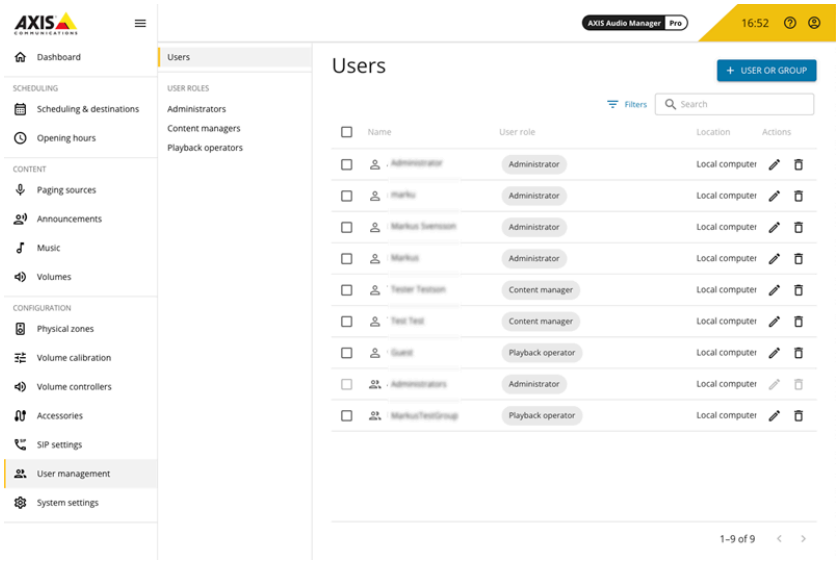
AXIS Audio Manager Pro 4.7.50

2024年12月

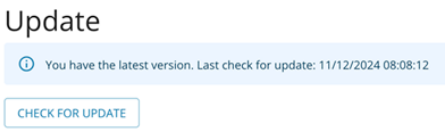
- ローカルのIdentity and Access Management (IAM) およびActive Directory (AD) システムと統合したユーザー管理が利用可能になりました。これを使用して管理者、コンテンツ管理者、コンテンツオペレーターなど、ユーザーを特定のグループや役割に割り当てることで、権限とアクセスコントロールを効率化することができます。

重要

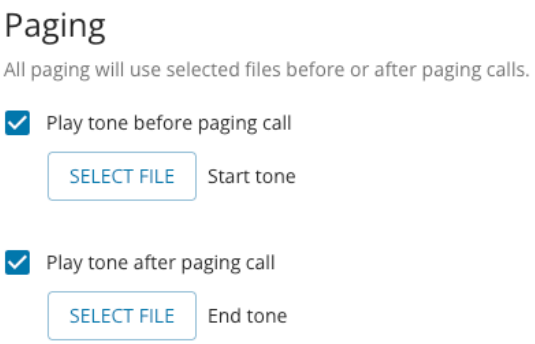
rootユーザーは削除されました。初回ログイン時は、ローカルのWindows管理者のユーザー名とパスワードを使用してください。その後、ユーザーやグループを追加してアクセス権を付与することができます。



- AXIS Audio Manager Proの最新バージョンが利用可能になると、更新通知が表示されます。サーバーのシステムトレイから更新を開始することができます。



- アナウンス前およびアナウンス後のお知らせ音のサポートが追加されました。SIP内線ごとに、デフォルトの、またはカスタマイズされたお知らせ音を設定できるため、業務放送や呼び出しの前に注意を引くことができます。



- AXIS C6110 Network Paging Consoleのサポートが追加されました。追加されたすべての呼び出しデバイスをリストで表示および管理できるようになりました。
- 強化された再生とエラー情報をダッシュボードで利用できるようになり、無効なソースと送信先に関する詳細情報が表示されるようになりました。また、ストリームでデータが受信されなかった場合にもアラートが表示されます。

- 連絡先情報が追加されました。管理者は、システム所有者に連絡先の詳細を追加して、すべてのユーザーがアクセスできるようにすることができます。
- デバッグに使用される診断パッケージが改善されました。
- SIPSサーバーの最小TLSバージョンを設定できるようになりました。
- リストの検索とフィルタリングがより効率的になりました。

AXIS Audio Manager Pro 4.6.2

2024年9月

- AXIS OS 12.0のサポート。本リリースは、AXIS OS 12.0で導入された破壊的変更について、特にroot権限の削除およびACAPに対する新規の署名要件に対応しています。このバージョンには、AXIS OSバージョン11.11 以降 (または、11トラックが利用できない旧型デバイスについてはAXIS OSバージョン 10.12) が動作するデバイスが必要です。
- 装置ソースとトークバック設定にエコーキャンセル設定を追加します。双方向コミュニケーション時のハウリングやエコーを防ぐために、サポートされている装置で有効にします。

AXIS Audio Manager Pro 4.6

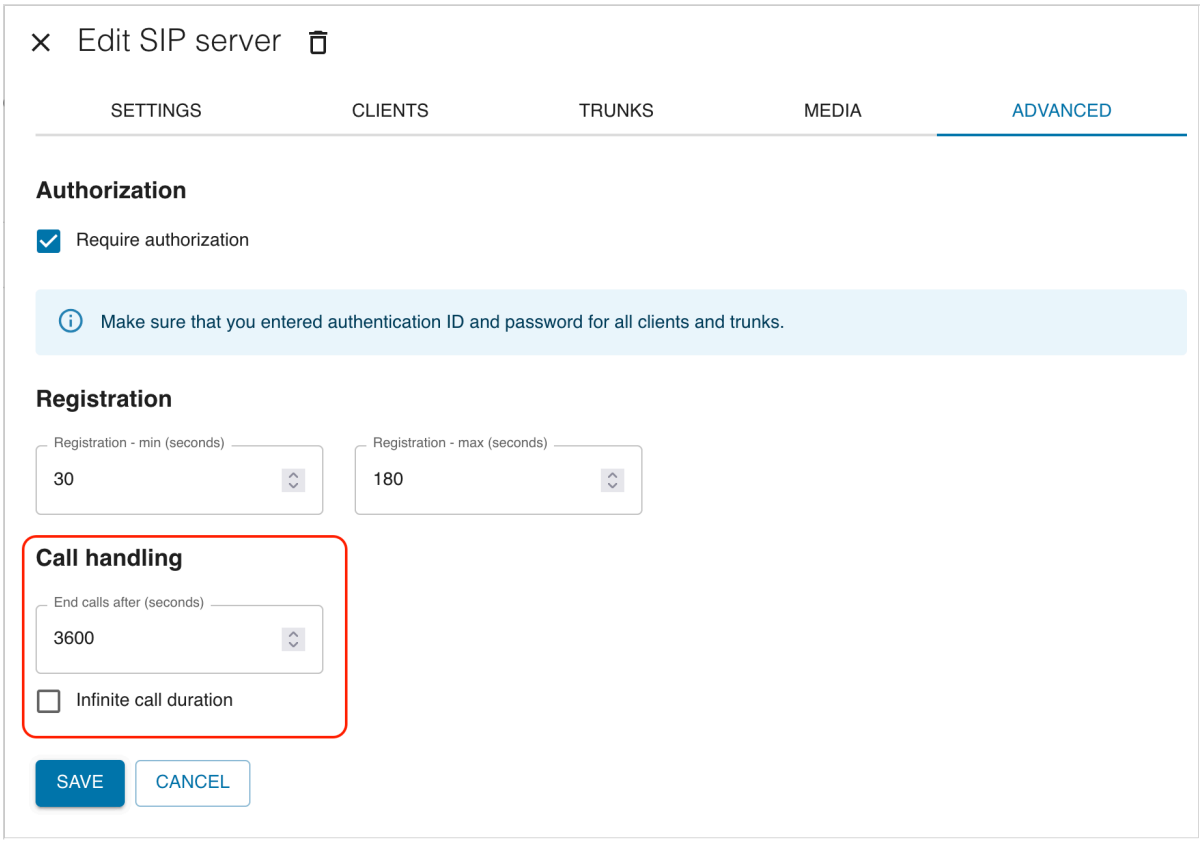
2024年5月

- 運用API v1.1の新規バージョンでは、既存の音声サイトとプログラムとの間における相互作用が可能となります。詳細については、APIの仕様を参照してください。SIP、RTP、HTTP経由でシステムにページングする可能性、ボリュームコントローラー、デバイスの健全性に関する情報などがニュースに含まれています。
  *AXIS Audio Manager Pro API*を参照してください。
- AXIS装置のサポート：
  - *AXIS C1310-E Mk II Network Horn Speaker*
  - *AXIS C1410 Mk II Network Mini Speaker*
  - *AXIS XC1311 Explosion-Protected Network Horn Speaker*
- 新たに6言語が登場：チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

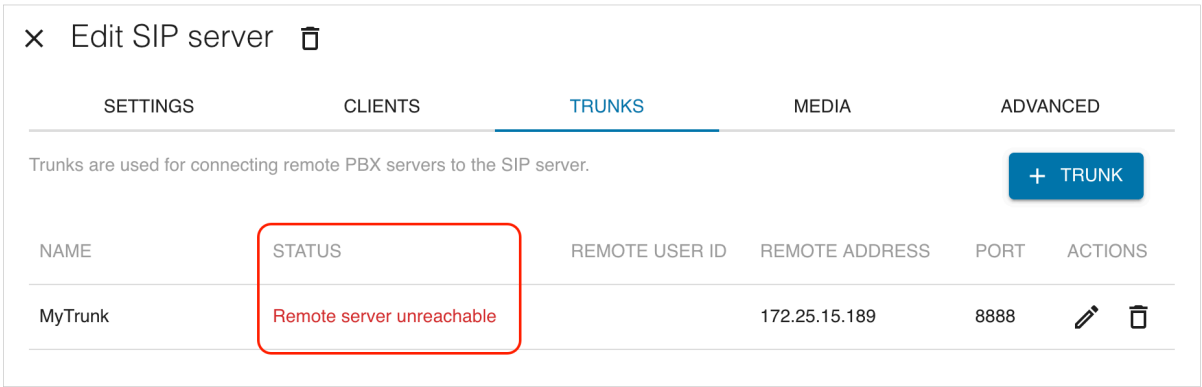
AXIS Audio Manager Pro 4.5

2024年2月

- AXIS ACAPルートユーザーの変更への適応については、*axis.com/developer-community/news/axis-os-root-acap-signing*に情報が記載されています。
- ソフトウェア部品表 (SBOM) は、本リリースおよび今後のリリースで発行されます。
- (ALSAから) Pipewireに切り替えることで、低レベルの音声ルーティングと処理が実現します。
- SIPSの改善
  - 最大通話時間オプションが追加されました。この値を超えるSIP接続は、自動的に切断されます。この設定を使用することで、SIP呼び出しを切り忘れた場合に、自動的に問題が解決されます。



  - トランクの接続性とステータス フィードバックが改善されたことで、接続の問題をデバッグできるようになりました。



T10215230_ja

2026-10 (M9.3)

© 2024 – 2026 Axis Communications AB